



地区剣連主催・共催 剣道大会

地区剣連主催・共催の大会

郡・市剣連の主催・共催の大会として、その地域・地区に於いて永い歴史を持ち、数多くの少年剣士を育ててきた剣道大会を紹介するコーナーです。

小林大二郎杯剣道大会

一、大会の目的・歴史

本大会は昭和五十二年に北秋田地区の剣道レベルの向上を目指し、大館北秋学体連と北秋剣道連盟が大会を企画したところ、当時上小阿仁村長であった小林大二郎先生が優勝杯



を寄贈して下さり、現在の北秋田市内の三中学校に上小阿仁中学校を加えた四校で小林杯争奪中学校剣道大会が開催された。その後、本大会が一時中断されたが、昭和五十八年に主催団体が大館北秋剣連へと変わり大館市と能代市の中学校を含め、さらには小学校の部も設け、新たに第一回小林杯争奪小中学校剣道大会としてスタートした。その後大館北秋教育連絡協議会から新たな優勝旗と優勝杯が寄贈され大会名も小林大二郎旗杯争奪小中学校剣道大会となり、参加対象地域も県内と青森県まで広げ現在に至っている。

二、主催・共催

主催 北秋田市教育委員会
共催 大館北秋剣道連盟

大館北秋田学校体育連盟
主管 北秋田市剣道協会

三、会場、開催日

合川体育館
三月二〇日（春分の日）

四、参加対象、人数

小学校低学年の部
小学校四年生以下
小学校高学年の部
小学校四年生以上
小学校女子の部
小学生女子（三人制）
中学校男子の部
中学生男子
中学校女子の部
中学生女子
今大会の人数
小学校低学年の部
二八チーム 一五七名
小学校高学年の部
三三チーム 一七五名
小学校女子の部
二四チーム 八〇名
中学校男子の部
二三チーム 一二〇名
中学校女子の部
一五チーム 六八名

五、大会の記録

小学校低学年の部
優勝 尚道館（青森）
準優勝 勝平スポ少A
三位 天王スポ少A
三位 川尻スポ少A
小学校高学年の部
優勝 尚道館A（青森）

準優勝 勝平スポ少A
三位 神武館A
三位 港剣志館A
小学校女子の部
優勝 天王スポ少
準優勝 協和
三位 雄信館A
三位 勝平スポ少A

中学校男子の部
優勝 尚道館A
準優勝 本荘北中A
三位 鷹巢中
三位 絃武館（青森）

中学校女子の部
優勝 秋田東中A
準優勝 大館第一中
三位 秋田北中
三位 弘前大附中

六、大会の内容

今回の大会は、三十回目に当たる大会であったが、昨年は東日本震災の影響で中止になったため、開催回数を何回目にするか色々議論したが、実開催数で行こうと言うことで二十九回とさせて頂きました。年々参加チームが増えて試合の消化が難しくなってきましたが、ここ数年中学校のチーム数と選手人数が減少の一途を辿っていて、どの学校も少子化の影響を受け部員の確保が難しい現状にあります。このような厳しい現状にありながら、遠路本大会に参加してくれるチームには大変感謝しております。今後も本大会の充実とレベルのアップを図り、長くこの大会が続くことを願っております。

第54回秋田県実業団剣道大会
5月20日・県立武道館

- 青年の部
優勝 長泉寺 (大仙市)
2位 小松酒店 (秋田市)
3位 秋田銀行A (秋田市)
3位 秋田銀行B (秋田市)
- 壮年の部
優勝 秋田銀行B (秋田市)
2位 秋田銀行A (秋田市)
3位 十字屋 (秋田市)
3位 こだまサッシ (五城目町)

第54回全国教職員大会秋田県予選会
5月20日・県立武道館

- 幼・小・中の部
優勝 鷲谷 和 (栗田養護教)
2位 中川 智樹 (本荘北中教)
3位 出町 吉弘 (角館中協)
- 高・大・教委の部
優勝 佐々木祐輔 (大曲高教)
2位 山崎 洵 (男鹿市教育委員会)
3位 金森 康臣 (明徳館高教)
3位 目黒 大祐 (横手高教)
- 副将の部
優勝 高久 育宏 (大曲農業高教)
2位 斎藤 淳一 (秋田高教)
- 大将の部
優勝 後藤 俊明 (秋田西高教)
- 女子の部
優勝 加藤 由佳 (横手城南高教)
2位 古野 未来 (秋田東中教)

第63回県民体育大会剣道競技
6月10日・県立武道館

- 成年男子
先鋒の部
1位 菊地 裕志 (日体大)
2位 山崎 大心 (男鹿市教委)
3位 伊藤 智博 (日体大)
- 次鋒の部
1位 土田 圭助 (県警機動隊)
2位 廣谷 晃一 (県警機動隊)
3位 渡部 有真 (刑務所)
3位 鈴木 滋 (刑務所)

中堅の部

- 1位 高橋 伸友 (秋田商業高教)
2位 濱田 康司 (秋田南消防署)
3位 大倉 淳平 (刑務所)
- 副将の部
1位 佐藤 信明 (さとう保険P.S.)
2位 筒井 勝 (秋田北高教)
3位 小松 紀久 (湯沢警察署)
- 大将の部
1位 高沢 真 (秋田中央高教)
2位 田口 昇 (県警本部)
3位 湯瀬 秀則 (横手警察署)

成年女子

- 先鋒の部
1位 加藤 由佳 (横手城南高教)
2位 神坂 友絵 (筑波大学)
3位 門間加那子 (秋田看護学校)
3位 工藤 彩 (茨城大学)
- 中堅の部
1位 鈴木 理恵 (栗田養護学校)
2位 山田 朋子 (主婦)
3位 中村亜希子 (主婦)

大将の部
1位 秋元かおり (熊谷機械設計)
2位 越高ひとみ (主婦)

第60回全日本剣道選手権大会秋田県予選会
7月21日・県立武道館

- 優勝 土田 圭助 (機動隊)
2位 廣谷 晃一 (機動隊)
3位 廣谷 文利 (機動隊)
3位 石田 景亮 (秋田銀行)

第43回全国高等学校定時制通信制剣道大会
8月6日・日本武道館

女子団体 第3位

第59回全国高等学校剣道大会
8月6〜9日・新潟市

男子団体 秋田商業高校
予選リーグ敗退(2敗)

女子団体 秋田南高校
予選リーグ敗退(1勝1敗)

男子個人
加藤峻一郎 (秋田商業) 第2位
国安 和葉 (秋田商業) 2回戦敗退

女子個人
加藤 夕海 (秋田商業) 1回戦敗退
佐々木颯子 (秋田南) 3回戦敗退

第54回全国教職員剣道大会
8月12日・山形市

団体 1回戦 0対1 和歌山
個人 高・大・教委の部 2回戦敗退
幼・義務教育の部 2回戦敗退
女子の部 加藤 由佳 1回戦敗退

第39回東北総合体育大会
8月18日・県立武道館



<少年男子チーム>

成年女子 3位 (3勝2敗)
少年男子 1位 (5勝) ☆ぎふ国体出場
少年女子 4位 (3勝2敗)

少年男子の部メンバー
先鋒 菊地 裕太
次鋒 筒井 雄大
中堅 国安 和葉
副将 古井 岳盛
大将 加藤峻一郎
補員 小野 賢也

少年女子の部メンバー
先鋒 越中谷明里
次鋒 荒井 美和
中堅 加藤 夕海
副将 木村 早希
大将 佐々木颯子
補員 小野 愛理

成年女子の部メンバー
先鋒 加藤 由佳
中堅 鈴木 理恵
大将 秋元かおり

平成24年度秋田県剣道連盟「幼少年指導奨励賞推薦」

- ・秋田市剣連 村上 建一
- ・由利本荘剣連 佐藤 俊一
- ・道場連盟 渡邊 敦

第58回秋田県少年剣道大会
9月8日・秋田県立武道館



<開会式>

高学年の部

- 優勝 雄信館内山道場A
- 準優勝 修武館A
- 3位 角間川道場
- 3位 協和剣道場
- 優秀選手(8名)
- 佐藤 和哉(泉剣道スポ少)
- 秋葉 裕斗(雄信館内山道場A)
- 佐々木未来(勝平剣道スポ少A)



<選手宣誓：角間川道場 後藤大和>

- 田口 千穂(角間川道場)
- 高橋 舜(修武館A)
- 山平 千夏(奥檜館A)
- 高橋 爽太(日新小剣道スポ少)
- 黒坂騎羅弥(協和剣道場)
- 低学年の部
- 優勝 秋水館鎌田道場
- 準優勝 天王剣道スポ少A
- 3位 勝平剣道スポ少A
- 3位 勝平剣道スポ少C
- 優秀選手(8名)
- 羽生 萌花(勝平剣道スポ少A)
- 猪田 正雪(港剣志館A)
- 畠山 葉月(田沢湖志成館)
- 丸野内 悠(秋水館鎌田道場)
- 淡路航志朗(勝平剣道スポ少A)
- 小松 太遥(奥檜館牛島道場A)
- 小野 貫太(東昇剣金足道場)
- 菅原 巧真(天王剣道スポ少A)

第42回全国中学校剣道大会
8月18〜21日・越谷市

- 男子団体 大曲南中学校 予選敗退(2敗)
- 女子団体 城南中学校 予選敗退(2敗)
- 男子個人 田越 滉平(大曲南) ベスト8
- 後藤 成時(大曲南) 1回戦敗退
- 女子個人 尾形友美佳(山王) 2回戦敗退
- 佐藤 真菜(本荘東) 1回戦敗退

高齡剣友親睦大会
9月15日・秋田県立武道館

- 66歳以上の部 優勝 木内 直幹(能代市)
- 2位 菅原 孝雄(鹿角氏)
- 3位 今 功夫(横手市)
- 55歳〜65歳の部 優勝 杉山 忠幸(秋田市)
- 2位 鈴木 由克(潟上市)
- 3位 渡邊 壽男(秋田市)

生き生き長寿賞

日頃の生きがいの成果を發揮し元氣高齢者として他の模範でありその活躍をたたえて「今功夫氏」が受賞。

※平成29年には、ねんりんピック全国大会が秋田県で開かれることが決定しています。明年からの本大会へ、高齡会員多数の参加を期待します。

第42回東北居合道大会
9月2日・秋田県立武道館

- 三段の部 佐藤 忠博 1回戦 丸山(福島)
- 2回戦 渡部(福島)
- 香澤 辰雄 0-1 3
- 今野 竜徳 0-1 3
- 渡部(宮城) 0-1 3
- 宮崎(岩手) 0-1 3
- 大久保(福島) 0-1 3
- 草刈 美穂 0-1 3
- 高橋(岩手) 0-1 3
- 武田(福島) 0-1 3
- 四段の部(予選リーグ) 栗津 秀明 1回戦 今(青森)
- 2回戦 川村(岩手)
- 谷本 淳 0-1 3
- 神鷹(宮城) 0-1 3
- 田中(山形) 0-1 3
- 五段の部(予選リーグ) 佐藤 良広 1回戦 藤田(青森)
- 2回戦 長谷川(岩手)
- 阿部 弘生 1回戦 喜多(青森)
- 2回戦 狐塚(宮城)
- 3回戦 原田(岩手)
- 3位決定戦 1-2 長谷川(岩手)
- 六段の部(予選リーグ) 戸堀 義一 1回戦 柴田(岩手)
- 2回戦 加藤(宮城)
- 戸田 愷章 0-1 3
- 小野(山形) 0-1 3
- 若松(青森) 0-1 3
- 七段の部(予選リーグ) 石田 純士 1回戦 小野(岩手)
- 2回戦 早坂(宮城) 1-1 2

管内矯正職員武道大会選手権
東北地区刑務官大会(団体)
4月27日・岩手県宮武道館

団体メンバー
先鋒 加藤 貴大
次鋒 渡部 有真
中堅 土田 貴也
副将 鈴木 滋
大将 大倉 淳平

予選B組
秋田刑務所 0-2 山形刑務所
秋田刑務所 2-0 宮城刑務所
1勝1敗 予選敗退

技術優秀賞 渡部 有馬

管内矯正職員武道大会選手権
東北地区刑務官大会(個人)
8月24日・秋田県立武道館

加藤 貴大 2回戦敗退
1回戦 メ 下村(宮城)
2回戦 メ 渡部(山形)

土田 貴也 1回戦敗退
1回戦 ーメ 古畑(青森)

鈴木 滋 2回戦敗退

1回戦 メ 小沼(宮城)
2回戦 ーコ・メ泉(青森)

大倉 淳平 1回戦敗退

1回戦 ーコ 蝦名(青森)

渡部 有真 2回戦敗退

1回戦 メ・メ 渡部(福島)
2回戦 ーメ 志田(宮城)

第7回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
9月16日・大阪市



中学生の部

監督 伊藤 秀樹(本荘東中教)
コーチ 橋本 文字(秋田南中教)
選手 尾形友美佳(山王中)
佐藤 真菜(本荘東忠)
後藤 成時(大曲南中)
寺田 宗(大曲南中)
田越 滉平(大曲南中)

愛媛県 ②³ | △₂² 秋田県

先鋒 久徳 ②コ | 尾形
次鋒 春名 ② | 佐藤
中堅 竹内 | 後藤
副将 菅 | 寺田
大将 井上 | 田越

大阪府A ①₂ | △₀ 秋田県

先鋒 太田 | 尾形
次鋒 木村 | 佐藤
中堅 内橋 ②コ | 後藤
副将 津守 | 寺田
大将 藤嶋 | 田越

予選リーグ 2敗 予選リーグ敗退

小学生の部

監督 尾形 茂(秋田刑務所)
選手 沼田 翔奈(秋大附小)
木村 弘人(新山小)
後藤 大和(十文字第二小)
及川 拓(保戸野小)
高橋 爽太(日新小)

1回戦 秋田県 △₁ | ③₅ 愛知県

先鋒 沼田 | 澤野
次鋒 木村 ② | 木全彩
中堅 後藤 | 安藤
副将 及川 | 木全悠
大将 高橋 | 山下

秋田県 ②³ | △₃ 香川県

先鋒 沼田 | 福家
次鋒 木村 | 田村
中堅 後藤 ココ | 長尾
副将 及川 ② | 大山
大将 高橋 | 岩部

予選リーグ 1勝1敗 予選リーグ敗退



剣道ニュース

目黒大作範士、日本武道代表
団員としてインド共和国演武大
会に出場。

「日印国交樹立60周年」を記念
して派遣される財団法人日本武
道館・日本武道協議会主催の武
道演武大会への派遣決定。

10月31日～11月7日の8日間
インデラガンジスタジアムで
演武大会・武道体験会・武道セ
ミナーなどを通し、武道の国際
的普及振興と国際友好親善にあ
たる予定。

剣道少子化に関する座談会

期 日：平成24年6月23日(土)
場 所：田沢湖スポーツセンター

○出席者：近藤 芳雄(養心館五城目道場)、小松 晃(奥檜館道場)
後藤 竜美(大曲右武館道場)、尾形 茂(修武館道場)
○司 会：岸野 直彦(剣道少子化対策委員長)



○剣道少子化対策委員会の取り組みについて

(司会) 今日は座談会にご出席いただきありがとうございます。まず最初の経過とこれまでの取り組みについて簡単に説明したいと思います。現在の社会状況の大きな変化の中で少子化現象が加速度して、あらゆる面にその影響が出てきています。剣道界も例外ではなく、剣道人口が年々減少して活動に支障をきたしている

道場やスポーツ団体の現状については皆さんも十分ご承知の事だと思います。そこで秋剣連では、平成二十一年度に連盟組織の中に「剣道少子化対策委員会」を設置して様々な方策に取り組んできました。主なものをあげると、剣道の「募集ポスター」を制作して各道場やスポーツ団体に配布したり、「秋剣連のホームページ」に道場やスポーツ団体の活動場所や練習日が分かるコーナーを設けたり、幼少年指導に献身的に貢献された方々に対して授与する「剣道幼少年指導奨励賞」を設けました。さらには、湯沢市総合体育館での「剣道指導者研修会」や東成瀬中学校での「武道(剣道)体験教室」を実施しました。また、今年の一月二十一日(土)には、潟上市天王総合体育館において、大会前の時間に剣道未経験者の児童や保護者を対象とした「剣道体験教室」を開催しました。この「剣道体験教室」実施後には、剣道に興味・関心を持ち、新たな加入者も出たとの報告も受けています。

○指導団体名と指導歴について
(司会) それでは皆さんから、指導している団体の特長や指導歴についてご簡単に紹介いただきたい思います。
(近藤) 養心館五城目道場の近藤です。指導年数は約三十年になります。私指指導者となってきたきっかけは、剣道五段に昇段した際の筆記試験に「指導者としての心構えを書け」という問題がありました。その昇段を契機に本格的に指導者になることを意識し、自分の住む地域のスポーツや中学校などで指導にあたってきました。人数は多い時で三十名を超えていた時代もありましたが、地域の人口減少もあり、現在は五名の人数で活動しています。
(小松) 奥檜館道場の小松です。道場を造って十年目になります。道場を開いたのは、私が恩師として尊敬する故奥山京介先生や檜山太郎先生の指導方法を継承し、現代の子供たちに剣道を教えていきたいと考えたからです。道場生の人数は開館当時の人数とほとんど変わらず四十五名程度です。
(後藤) 大曲右武館道場の後藤です。私が指導者となって約十年になります。これまで指導されてきた先生が高齢となり、後継者を捜していたのがきっかけです。現在の人数は十年前とほとんど変わらず二十名程度です。
(尾形) 秋田刑務所の敷地内にある修武館道場で指導をしている尾形です。指導者となったきっかけは、私の恩師である故進藤正広先生から、修武館道場にきている子供たちに正しい基本技(一歩からの面、小手面打ちなど)ができるよう指導して欲しいと進言されたからです。

○剣道を通して子供たちに教えたいこと
(司会) 皆さんは、それぞれ情熱を持って剣道のすばらしさを子供たちに伝えたいと思い、日々指導されているわけですが、具体的に最も子供たち身に着けて欲しいと思ってるものがありましたらお聞かせください。
(近藤) 礼儀作法はもちろんです。剣道の基本技を正確に身に付けさせること、また、自分に「克つ心」や努力することの大切さを養って欲しいと思っています。
(小松) 私も近藤先生と同意見で、礼儀作法や礼節を身に付けること、正しい基本動作ができることを目標にして指導しています。
(後藤) 私は剣道を通じて我慢することの大切さや、相手に対する思いやりの心の大切さを身に付けて欲しいと願っています。
(尾形) 私は礼節を重んじ、何事に対しても感謝と思いやりの気持ちを忘れず、きついことから逃げ出さないで我慢できる子供たちを育てたいと思っています。併せて、正しい基本技を身に付け、「稽古は試合のように、試合は稽古のように」できるように、日々の稽古で指導しています。

○剣道少子化時代の中で、指導や運営等で困難を感じていることは
(司会) 少子化社会が進む中で、現在活動している団体の中には指導や運営の点で困難を抱えている事も多々あるのではないかと思います。ありましたらお聞かせください。
(近藤) 人数が少なくなっても、団体加盟登録料や参加料が変わらない

めに保護者の負担が厳しくなっているのが現状です。

(小松) 剣道は防具等の値段が高くお金がかかると思われていることや、両親がほとんど共稼ぎのために送り迎えが大変なこと。また、剣道に興味があっても痛そうだ思われて抵抗感を持っていることなどです。

(後藤) 私が指導している道場は旧大曲市内にあり、地域に4つの小学校があるので子供たちは集まりやすい環境にあります。ただし、学年によっては人数に偏りがあるのが難点です。

(尾形) 私たちの道場である修武館は刑務官の鍛錬の場であり、秋田県内の現役トップクラスの選手達が日夜激しい稽古をしている場所です。そのそばで稽古をしている子供たちにとっては、ハイレベルの稽古内容を肌で感じる事ができるので、環境面では恵まれていると思っています。

○剣道少子化時代の中で、工夫して取り組んでいることは

(司会) 少子化社会が進む中で、工夫して取り組んでいることがありましてからお聞かせください。

(近藤) 新年度に入って、地域の学校にお願いして小学生全員に募集チラシを配ってもらいました。

(小松) 道場生の弟や妹などには全員に声をかけ、剣道の楽しさを知ってもらおうようにして常に誘っています。また、保護者を通して知り合いの方などにも積極的にPRしてもらっています。

(後藤) 私も小松先生と同様に、道場に通って来ている弟や妹たちに声をかけています。

(尾形) 子供たちが厳しい練習から逃げ出したり、やめてしまわないように練習内容に絶えず変化を持たせることで、子供たちが剣道に興味・関心を持ち、剣道が好きになるような人の長所やよくできたことをほめるように配慮しています。時には、あえて厳しい練習をすることで稽古をやったと思う達成感や充実感を味わせることが必要だと思っています。また、試合を通じて勝負に勝つ喜びや負けることの悔しさを知ることにも必要だと考えて指導しています。

○上部団体の役割について

(司会) 皆さんは、子供たちの人間的成長を願って指導し、努力されている訳ですが、やはり単独では限界もあるのではないかと思います。そこで上部団体に望むこと果たして欲しい役割についてありましたらお聞かせください。

(近藤) 剣道の大会などがテレビで放映されるよう企画して欲しいと思います。

(小松) 「初心者剣道体験教室」などを、大会日に企画して欲しいと思います。また、新聞・テレビ等で剣道を積極的に宣伝して欲しいと思います。

(後藤) 剣道がマスメディアに取り上げられる機会を増やして欲しいと思います。

(尾形) どの団体も剣道を発展させようと尽力しているのですから、皆が手を取り合っているから、役割を果たして欲しいと思います。

○剣道少子化時代の中で、今最も大切だと思うことは

(司会) 最後に、少子化時代が進む中で今最も大切だと思うことがありませんでしたらお聞かせください。

(近藤) 剣道人口を増やすために、剣道をやっていない人たちの目に触れるような機会をもっと多く作る、企業意識を持った発想が益々必要だと思います。

(小松) 指導者や子供が少ないからと納得(あきらめないで)していかないで、積極的に剣道の良さを様々な場面面でPRしていかなければならないと思っています。そのためには、指導内容や指導方法の中身を充実させる工夫が今以上に必要だと考えています。

(後藤) 稽古を通して厳しさを教えることも必要ですが、その時代に合わせた指導方法の工夫(不易流行)も必要だと思います。

(尾形) 少子化が進む中、他の競技団体(サッカーなど)のように、秋田県の剣道が小・中・高で一環した指導ができるような環境作りが必要であると考えます。そのような環境作りの中で、各団体(道場・スポ少)の新たな可能性が見えてくるのではないかと思います。

(司会) 少子化時代が急激に進む中にもあっても、私たち剣道関係者は剣道のすばらしさを一人でも多くの方々に理解していただく努力が必要であるとあらためて思いました。本日は貴重なご意見ありがとうございました。

秋田県剣道連盟ホームページ

URLは
<http://www.18.ocn.ne.jp/~axkendo/>

ホームページ内では、年間の行事や試合結果を随時更新しています。

剣道・居合道・杖道関連の情報や試合結果を取得する際にご活用ください。その他に、各郡市ごとの道場案内・月別行事予定表・九郡市連盟事務局一覧・県剣道連盟運営組織図や、日本剣道形・木刀による基本稽古法の動画、各種講習会の記録、秋田県剣道の先覚者などの記事も掲載されています。

編集後記

今年度も、「ローカル大会の記事を多く」「シリーズ記事は継続掲載」とし、前期(十月)・後期(三月)の二回発行としました。ご多忙中にもかかわらずご寄稿くださいました皆様に感謝申し上げます。

編集

- 秋田県剣道連盟広報委員会
- 吉田 雅宏、大森 宣昌
- 伊藤 隆、芳谷 正人
- 保坂 徹、辻 文彦
- 鹿子沢浩美